大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　八月廿八日（火）

發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

滿洲特産工業會社 二萬株を公募
業務は特産加工業と農業融資

日滿有力實業者に依つて計畫された滿洲特産工業株式會社は資本金五百萬圓第一回四分の一拂込で已に去る五月二十一日滿洲國政府の設立認可を得其後創立準備中であつたが總株數十萬株中八萬株は發起人で引受け二萬株を近々一般に公募する事となつたが同社は本社を奉天に置き高粱の精白、釀造、製粉、製麵、製菓等特産物の加工業の外副産物の指導農村供給共同販賣並に、共同購入の仲介農收資金の貸付等となす筈で行詰つた農村の打解策にもなり且つ滿洲産業開發の誘導的會社として非常に期待されてゐる

總局の優良大豆配布 二年度も繼續

【奉天國通】鐵路總局では本年播種期に於て北滿大豆の品質改良の爲め巨額の費用を投じ愛護村を通じて齊北、賓北兩沿線農民に對し優良大豆の種子を配布、豫期以上の好成績を收めたが康德二年度に於ても更に前記二線に拉賓沿線をも加へ引續き優良種子の配布を行ふに決し目下着々準備中である、尚二年度には拉賓線の分は未だ決定してゐないが齊北線には大体七十七萬キログラム、賓北線には四十六萬二千キログラムの種子を配布する豫定である

雪國の農村に 緬羊飼育を奬勵

【東京國通】七月中旬オーストラリアからコリデール種三百頭の緬羊輸入され既に東北五縣並に北海道へ五十頭宛分配されたが、來月早々更に四百頭が輸入され雪國へ送られる事になつて居る、農林省では從來共四百頭宛毎年輸入其飼育場で育て、子供を各地方に送つて居たが、今回の四百頭は無償で農村に貸し、來年は貸したものと同數の子供を返却して貰ひ、他の地方に更に其子供を貸與し斯くして年々子孫を増して行かふと云ふものである、此目的は一般農家に緬羊を飼はせて多期雪に閉ぢ込められて居る農家で羊毛を紡ぎ又は織物にさせるもので、農家に副業を與へると共に緬羊の糞は桑の肥料となり、更に又蠶の糞が逆に緬羊の食物になると云ふ頗る都合の良い關係に置かれ農村問題解決の一助とせんとするものである

ガンジス河氾濫 印度大洪水に見舞はる

【カルカッタ二十六日發國通】印度を北から東南へ貫流するガンジス河は過般増水甚だしく廣大な流水で至る處洪水に見舞はれ村落の流失、死傷も多數に上ると傳へられる、特にビハール州一帶は被害甚だしくベンゴール、ノースウエスタン鐵道の幹線はチヤプラ附近で洪水に攫はれ鐵道の運行は杜絶するに至つた、モンギアールからの報導によればガンジス河は恐しい勢で刻々増水しつつあり州内各縣廳當局は縣民を安全地帶に移すため東印度鐵道會社所有貨車全部を徴發したと云はれる

日本商工業視察に 滿洲財界の巨頭赴日
日滿經濟提携頗る期待さる

眞の日滿經濟提携實現のためには先づ日本の商工狀態の實狀につき充分なる認識と理解を持つ必要ありとの議は先般來滿洲國有力實業家の間に熾んとなりつゝあつたが今回機熟し日滿實業協會滿洲支部の斡旋の下に同國實業界要人約三十名が今秋十一月上旬日本を訪問する事に決定した、目的としては前記商工業の視察の外、今秋東京に開催される日滿實業協會總會に出席、昭和十一年新京に開催される滿洲國博覽會の準備打合せもある模樣で之が打合せの爲め協會篠崎嘉郎氏は二十六日朝來京したが三十日哈市へ向ひ北鮮を經由して來月十日頃歸京の豫定であると

カナダに モントリール 銀取引所設立

【東京國通】カナダにモントリール銀取引所設立の報に我當業者はカナダは銀の生産額も多いしアメリカ、インドとの關係は密にならうが銀取引の中心は依然ロンドンである事に變りはないと云つて居る

農家食料 差押禁止法
司法省で立案中

【東京國通】司法省では貧窮農民の生活權保證のため愈々次期議會に農家食料差押へ禁止に關する法律案を提出するに決定社會政策的意義を加味し立案を急いで居る

日印通商條約の 審査委員會 近く開催

【東京國通】七月十二日ロンドンで調印を了した日印通商條約と附屬議定書は過般成立文が到着、飜譯審査を經て二十四日閣議に附議し上奏中のところ二十七日樞府に御諮詢なり一木議長は荒木賢太郎氏を委員長とする七名を委員に指名九月早々第一回審査委員會を開く事となつた

舊幣回收は 既に七〇萬圓に達す
呼蘭貝爾は好成績

【ハイラル國通】海拉爾を中心とする全ホロンバイルの幣制統一は各紙帖の約八割を回收し得て極めて好成績裡に一段落を告げ北は漠河奇乾から南は新巴爾虎兩旗に至る迄普ねく國幣が流通され、今や繁雜極まる數々の舊幣も全く影を沒したが、六月末現在に於ける當地中央銀行に於ける舊幣回收高は次の如く總計六九萬圓余に達してゐる（數字は國幣に換算したる額）（換算率毎國幣一圓）

種別	額	換算率
江省大洋	三二六、六〇四、五二	一、四〇
江省四屋債券	一、六九七、九六	一四、〇〇
江省官帖	三、七五	一六〇、〇〇
江省哈大洋	三三、七四三、四四	二五
三省哈大洋	一〇四、二六八、五六	一、二五
邊業銀行哈大洋	六〇、五二八、一三	一、二五
永衡哈大洋	三三、八五三、六〇	一、二五
中國銀行哈大洋	四一、三三九、三三	一、二五
交通銀行哈大洋	一一〇、三二一、三六	一、二五
三省兌換券	一、二九九、五〇	一、〇〇
邊業兌換券	五四〇、一〇	一、〇〇
三省　兌券	一四、八八	五〇、〇〇
公濟銅元票	九、四五	六〇、〇〇
永衡官帖	六九〇、五五六、八六 / 二一、一〇	五〇〇、〇〇

米穀對策調査會 九月初め

【東京國通】米穀對策調査會官制は二十八日の定例閣議に附議決定の方針で委員の詮衡も一兩日中に終り次第任命の筈で準備整へば九月早々第一回調査總會を開き岡田首相より設置の挨拶の後第二回より本格的審議に入るが成案を得る迄には數ケ月を要するものと觀られてゐる

米穀調査委員 政友側決定

【東京國通】米穀調査會貴院側委員は河田翰長の手で二十七日迄に大体内定したが貴院側の學識經驗者委員は目下農林省で詮衡中であるから三十一日の定例閣議に附議決定の筈である、政友側委員は前田米藏、島田俊雄、東武、砂田重政、八田宗吉、胎中楠右衛門の諸氏、國同委員は小池仁郎氏と決定、何れも二十七日河田翰長に通告した

ソ聯通商部 引上げて 在庫品投賣開始

【奉天國通】奉大商埠地三經路にある駐奉ソ聯通商代表部では部員の更迭により現在の代表部員は全部ソ聯本國に引上げる事となり在庫品の投賣りを開始したが、北鐵交渉停頓の折柄右通商部の人事異動は各方面から注目されて居る

アルグン河附近 成吉思汗の居城でない
ボ博士の新發見

【ハルビン國通】ハルビン博物館のボノソフ博士は約一ケ月に亘り成吉思汗の居城として著名なアルグン河方面を視察中であつたが、今回同博士一行の視察の結果世界考古學に新たなる波紋を投げかけるに至つた、即ちアルグン河とガン河の合流地點にある古城は成吉思汗の城とされてゐたが、同城は成吉思汗の治政約二百年前にコンクラートといふ一小王國があり、それを立證する多數の文獻が埋沒されてゐたことが發見された、殊にペリカン鳥の彫刻の如きは古代ギリシヤで非常に珍重されたものゝ一種でギリシヤ以外で發見されたのは今回が最初である、古代のギリシヤ文明がどうして此の僻遠の地に流れ込んだのか考古學上の新たなる研究題材とされてゐる今回發見された一千年前の宮殿附近で發掘した煉瓦にやさしい女性の掌あとがある事も發見されたが、この點より推定してコンクラートの小王國は女帝によつて統治されて居たのではないかとされて居る尚ボノソフ博士は蒐集した幾多の貴重な文獻を整理して世界に發表して數々の疑問を解く筈である

黑龍江省の「寶庫全貌」（上）
水災と匪禍で農村は疲弊

北滿の寶庫と言はれる黑龍江省は面積は日本内地の全面積に匹敵し乍ら省内の人口は僅かに三百八十萬で一大阪市にも劣る程人口稀薄である、最近は治安全く回復移民を黑龍江省に於ても明年度に多額の豫算を計上して多數の集團移民を黑龍江省に送るべく計畫中と言はれる、此の時に當り最近の黑龍江省の産業の概況を記して見やう

△農業

現在黑龍江省に於ける既耕地は三百六十萬町歩（全可耕地面積の約三十パーセント）にして可耕未耕地は猶九百萬町歩あり現在人口三百八十萬として一人當りの耕地面積は約九段一家族五人とすれば三町五段となるが此割合を以てしても今後猶一千萬人の人口を收容し得る廣大な未耕地を有してゐる

主要農産物は滿洲の五大農産物と言はるゝ大豆、小麥、粟高粱、玉蜀黍にして平均生産高

大豆　三〇〇萬キロ
粟　一五〇萬キロ
高粱　一二〇萬キロ
小麥　一一〇萬キロ
玉蜀黍　五〇萬キロ

である、然し一昨年北滿未曾有の大水害あつて田畑荒廢し農村疲弊のため作付面積、生産高著しく減少し去年も赤雨量多く天候不順なるため收穫も更に減少せる模樣で實業廳が六月下旬調査した本年度豫算高は

大豆　一八〇萬キロ
粟　一二〇萬キロ
高粱　一〇〇萬キロ
小麥　六〇萬キロ
玉蜀黍　七〇萬キロ

にして總計に於て平均生産高七百三十萬瓩に比べ五百三十萬瓩で（二百萬瓩二十七パーセント）の減收を豫想されて居る、其他水稻及び特用作物の栽培も近年年を逐ふて旺んになりつゝあるが從來北滿には農業の指導奬勵機關試驗場等の研究機關がないため今後は此の方面の施設を爲し計畫的に栽培を奬勵する事となつてゐる然しながら農業の開發は北滿の如き未開地にあつては技術的問題よりも經濟問題が常に先ず考慮さるべき問題であつて殊に近年北滿は水災と匪禍を蒙り加之滿洲特産たる大豆相場下落に遭ひ農村は極度に疲弊せるため當局も主力を常に農村經濟問題に置き其の第一歩として農村金融組合の設置並に春耕資金の貸付等に努力しつゝあるが金融組合の充實後更に

一、移民の扶殖
一、新作物の奬勵
一、輸送の合理化

等の問題が技術的諸問題と共に殘されてゐる

△林業

次に林業を見るに全省森林面積（大興安嶺を含む）約二千四百萬町歩蓄積約九十一億萬石一町歩當り平均約四百石にして材質優秀である、就中小興安嶺一帶の原生林は本年四月實業部の航空調査の結果に依れば一町歩當り蓄積約一千石にして全滿森林中最優秀の林相として賞讃されてゐる、樹種は白樺黑樺柏白楊楡落葉松唐松五葉松赤松等であつて森林地帶は概して緩傾なる爲め其の利用價値は大であり、滿洲國の一大寶庫と言ふべきである、今後の森林政策としては從來の如き無統制濫伐を嚴重に取締り合理的の伐採を行ひ一般需要と森林保護の調節を保ち一面無立木地に漸次植林せんとするにある

珍しい勞働爭議 奉天で線香 勞働者罷業

【奉天國通】奉天市内線香勞働者は最近線香の高騰に依り從來の賃銀十束八錢五厘を十三錢五厘に値上げを廿五日各工場に要求したところはねつけられたので遂に一齊に同盟罷業を決行するに至つた、罷業加入の工場十、總人員百數十名であるが滿人の斯く結束して資本家に對抗することは稀で事變後勞働者の自覺向上を物語るものとして當局では重大視してゐる

東亞の天地（愛國軍事小說）
森嘉吉　作
川路慶太郎　畫

三四　まんち時雨（一）

「ソヴエートロシアの遣り方ときたら隨分と露骨ぢやないか、關東軍も、骨が折れることでごはせう」

老將軍熊谷宇内は、白髭をしごきながら、[illegible]大宮の別邸の應間で、折柄訪れた安齋千里と、打寛いで、對談した。

日露の戰ひで、奉天大會戰の勇士として、勇名を馳せた老中將熊谷宇内は、隱栖につくと、名利をわすれて、耕田事業にかけつてゐたが、安齋千里は、政黨否認論者として有名な論客で、老將軍とは、無二の碁相手であつた。

安齋は、

「ソヴエートとは戰爭を初めるでありませうか、日本は、自重に自重して居るやうでありますが」

と、訊いた。

「なかく難しい問題ぢやのう、うつかりすると、軍機の秘密に關するから言へんが、退役の身ぢやちよつとぐらひ戰爭論はしたつてよかぢやろと思ふよ」

「どうぞ、將軍」

「いや、わしも若かつたら、もう一度戰つて見たいよ——先般、滿洲國防を見物に行つた時だ。赤土の野原に、わが國防の第一線を守る十何旅の軍旗が蒙古風をうけ、御稜威を輝かせてゐるのを見たとき武者振ひを、禁ずることが出來なかつたよ、何しろ、滿洲國七萬七千方里の領土の草は、その昔風になびき、三千三百萬の人は、その血に染まつた、馬賊の痕を見て、（守の神）とあふいでゐるのだ」

「成程、勇壯なお話ですなあ」

安齋は、感嘆した。

「わが忠勇なる、陛下の軍隊には、北は、黑龍江の河岸、身を切るやうに、寒い風が、北極の向かふから、シベリヤの荒野をヒューと吹きまくつてくるあたりに、しつかりと、銃を握りしめて立つてゐるからのう！」

「皇軍の勞苦を思ふと、涙が出てまゐります——私は、益々政治の腐敗が癪になつてまゐりました。」

「その節余、吉林省へ行つて、美しい牡丹紅の溪谷にも、わがカーキ色の軍服が見られるではないか、つくゞ、我れ若かりせばと思つたよ」

「閣下としては、さうした感慨に耽られることは無理もありません」

「ところがぢやー怪しからんことを聞いてきた。ソ聯國境の露助共は、日本軍にや負けんぞ、と豪語しちよるのだ。沿海州の各師團が、東から、滿洲へ進撃するし、日本と戰ふ時には、ボクラニーチナヤ驛から乘りこんで、側背を攻撃してやるのだ——と、威張つてゐるさうだ。」

「酷い豪語もあつたものだ——ところで、何故、日本軍は、赤軍の侵入に應戰せんのです？」

將軍は、やゝ考へて、

「進撃してきたら、應戰せんことは無からう。日本軍の事ぢやから、こつちからは、いかなる戰爭にも、手出はせんけど、進撃してきたら、それこそ、待つてとつたとばかりに、やるよ、やるよ、大いにやるよ、わつ、はつ、はつ、はつ、はつ」

高い笑聲を聞きつけて、奥の間から、

「また、お祖父さま戰爭の話？」

と、將軍の愛孫の梅子が出てきて言つた。

「や、梅子か——安齋の小父さんに、挨拶をせんか」

「いらつしやいませ、今日は」

安齋千里は眩しさうに見やつて

「綺麗なお孃さんですねえ」

と、呟いた。梅子は、眞赤になつて、微笑した。

全國旅館聯合大會 お膳立て成る

來る十二日新京高女で開催

既報、第十一回全國旅館聯合大會は來月十二日午前十時から新京高等女學校講堂で開催されるが、同大會假事務所に當てられた市內東二條通り大和新館では新京旅館組合役員全滿洲旅館協會役員らが連日大會の準備打合せに忙殺されてゐる、なほ大會當日及び前後のプログラムは大体左の通り決定した

▲十一日永樂町太陽ホテルにおいて提出議題の打合會

▲十二日午前九時から女學校で大會、開會の辭は全國旅館聯合會々長近藤末一氏（東京赤坂）來賓祝詞は交通部大臣、關東軍司令部代表阮國都建設局長、鐵道代表金新京特別市長、新京商工會議所代表、大原地方委員議長など、閉會の辭は滿洲旅館協會々長山田三平氏（大連遼東ホテル）午後六時から賓宴樓で懇親會

▲十三日午前中寛城子、南嶺の戰跡見學、關東軍司令部駐滿海軍部訪問、正午から國都建設局樓上において阮局長から國都建設情況について講演あり、終つて同所において阮局長招待の園遊會（當日は新京カフエー旅館組合の女給藝者等の應援あり）

なほ同大會の目的は旅館の統制旅客の便宜をはかるにあり旅館、鐵道、船舶の連絡統制にある、この外新京旅館組合國都建設局では國都新京及び滿洲を全日本に紹介する絕好の機會であるので各方面の案內紹介に全力を注いでゐる、なほ大會出席者は二百五十名を突破するので新京驛及び鐵道事務所では出席者の輸送、旅館の割當てなどにつき準備中である

國都建設局も大乘氣

事故防止

「怪我は其身の油斷から」 新京鐵道事務所で けふ標語當選

新京鐵道事務所ではさる十五日から二十五日までに社員の職務傷病事故防止の標語を募集したのは既報の通りであるが、有効票總數は四百七十九票に達しこれが審査は二十七日正午から所長室で、芳賀審査委員長、中山、野村、鹽川松尾各委員によつて嚴選の結果、一等候補として

怪我ハ其身ノ油斷カラ

の外に左記二等二名三等二名佳作十九名が決定されたが、一等候補標語には市內大和通り七十一番地本田實氏と大楡樹驛の劉殿臣の二名が同文句であつたゝめ、二十八日午前九時特に本社記者の立會を求め、鐵道事務所庶務室で久保田文書主任、谷澤所員及び中島本社記者立會の下に抽籤の結果、一等には劉殿臣氏が當選した

△一等「怪我ハ其身ノ油斷カラ」 大楡樹驛 劉殿臣

△二等「惰心、慢心怪我ノモト」 蔡家驛 村上智

△同「心セヨ動ク車輪ガ命奪ル」 鐵嶺驛 宮田實

△三等「スルナ油斷、忘ルナ危險」 新京驛 渡邊勝美

△同「骨身惜ムナ命ヲ惜シメ」 四平街機關區長 谷川重三

（佳作十九名省略）

なほ前記五名にはそれぞれ賞金が近日中に授與されるはず

けさ京圖線で貨物列車顚覆

折返し運轉で連絡

廿八日朝午前四時拉法を發した貨物八〇二列車が、午前六時六道家、額赫穆間にさしかゝるや、轟然たる音響と共に貨車十九輛脫線轉覆して滿載した大連埠頭行大豆は四邊に散亂大混雜を呈してゐる、現場へは拉法より係員急行應急の措置を講じてゐるが當分復舊の見込立たず、取敢へず折返し運轉により貨客の取扱を爲す事となつた、原因被害狀況等目下取調中であるが人畜には被害なき模樣である

八十七の老婆 ブラジルへ

【甲府國通】山梨縣東八代郡祝村野澤まつ（八十七歲嘉永元年七月生）は一家五人とブラジル移住の渡航を出願中のところ今回渡航免狀下附され九月十日神戶出帆南米渡航に決定したが、恐らく海外渡航の最長老であらうと言はれてゐる

犯人搜査に新紀元

ラヂオ自動車

【東京國通】警視廳が豫て五萬二千圓の豫算で苦心研究し製作を川崎市東京電氣株式會社に依賴してゐたラヂオ自動車五臺は漸く完成し廿七日愈々納入の運びとなつたので警視廳では小型二臺を操縱して警視廳と通信實驗をし乍ら運轉せしめたところ成績頗る良好であつた、尙●ラヂオ車は二百メートル程のコードを用意し其の先へ送受話器を別に備へて居り畑の中とか森の中とか車の出入來ない不便な場所からも自由に通話し得る樣になつて居り、別に電話送受器を備へ大阪附近迄も送受出來るものでこの送受信を盜み取ることは絕對不可能なものである、愈々これの使用を始めた上は犯人搜査に非常な能率を擧げ得る事とならうと期待されてゐる

大林組の苦力

共謀で强盜稼ぎ 新京署刑事に捕る

山東省生れ大林組苦力于壽亭（二八）同郭道明（二〇）の兩名は同僚社會志（三〇）と共謀し、本年三月五日午後九時ごろ各鐵公鷄式拳銃を所持し、哈爾濱道外成道街滿人理髮店を襲ひ現金二圓を强奪した外、同地で二件を荒し干、郭の兩名は七月初旬新京に逃走し苦力として働いてゐたが二十七日午後四時ごろ二人は新京で强盜を敢行すべく物色中を密行中の新京署岩田刑事に逮捕され

怪し、雲隱れした ダイヤの行方？

大枚一千圓の指環が紛失 犯人は內部關係か

日本橋通三三洋服商富來長こと榎本富太郎氏方の奧六疊の間の押入れに入れてあつたダイヤ入プラチナ指輪時價一千圓と現金三十圓が二十五日から二十七日午後八時の間に何者かに窃取されてゐるので家人は驚き直に新京署に屆出た同署では直に刑事隊が現場に急行し檢證を行つたところ、同家は店の間に洋服職人が四名仕事をしており、來客の際は庭先で接待してゐる關係から推して犯人は內部關係のものと睨み同家の滿人職人四名を引致し嚴重取調べを進めてゐる

滿露國境を探る（三）

ダリヤ咲く野邊に ねむる三勇士

勇敢な日本人指導官の話

虎林

虎林の產業は圓山子とほゞ同樣であるが、人口は三千余りで遙かに少く、對岸イマン河の合流する地點にグラフスキーの大兵營が見へ地形から云へば滿洲國側が急に高くなり百米ほどの絕壁をなし、相當な要害であるやに思はれた

船が着いたのは夜だつたが擴しウ鐵沿線イマンの灯が見えると聞いてゐたので早速碼頭前面の崖にかけ登つて見ると成る程「見える、見える」三四キロ先であらうと思はれる地點に電燈の光が明滅してゐる、此處は人口一萬五千程の小都市でハ府とウラジボの中間に位しイマン區の行政廳があり、農產物集散地とし又軍事上の要地とし有名な町であるが舊政權時代には虎林縣の要人が支那から赴任して來る時はウラジボ經由でイマンに來り、虎林の有力者達は河を渡つてイマン驛迄出迎へたと云ふ程イマンと虎林とは密接な關係にあつた、尙私を案內して吳れた役人の一人はイマンの電燈を指差して

月の中十日以上は八時頃から電氣を消して了ひます、その譯は電力節約の爲月の明い夜だけ燈火管制をやるのです

と說明してくれた

虎林は圓山子と同じく三好匪の不換紙幣と匪賊の掠奪に遭つた後とて明かに疲弊の色が見え、町の人が最初に私に話しかけた言葉は本年二月高玉山匪が虎林を包圍せる當時の凄慘な思ひ出であつた、殊に坂口吉林軍日本人指導官が機關銃と手榴彈とで二百人の敵を殪した話はこの僻遠の地で日本人の意氣を如實に物語るもので、非常に愉快であつた翌朝吉林軍顧問處虎林辦事處前に建てられた滿洲國日本人將校日下繁夫上尉、坂田譽一郎上尉（以上本年一月虎林で戰死）高澤幸吉一等水兵（大穆稜河で戰死）諸氏の碑に詣で、王道國家の礎石となつて靜に虎林の野に眠る大和武夫の英靈に暫し默禱を捧げた

碑の背後にはリンデンの大樹が繁り、碑の周圍にダリヤの花が無き勇士の勳を語るが如く咲き亂れてゐた

尙私は歸路に於て前記坂口指導官が營口號に乘合せた爲め匪襲を受けて重傷を負つたとの報に接し驚愕せると同時に斯かる僻遠地に働く官吏が眞に身命を擲つて犧牲的精神に富む人達の集りである事を痛切に感じた

煙溝

阿片に榮へる東安鎭饒河、虎林の町に次で逃へねばならぬのは秘密境煙溝地帶の近況である、云ふ迄もなく煙溝は舊政權時代中央と隔絕して二十年來存在して來た阿片王國である北は饒河縣、西は寶淸縣に跨る那丹哈達位嶺と虎林河の地域に挾まれた地域の名稱で周圍の自然の地形が他區と絕緣ずる樣に都合よく出來てゐる山丘密林が自然の城壁となり飛行機でなくては中を覗く事は不可能だと云はれその中に一萬二千人からの人間が蠢いてゐた、この阿片に生き阿片に死んで行く『けし』地獄をこの世の天國と心得て太平樂をならべてゐる人種を擁護する爲めに金にあかして自衞團が養成され舊政權時代は軍隊の力も及ばぬとされてゐた本年二月日本軍が討伐する迄饒河、密山一帶を荒し廻つた高玉山はこの用心棒の親玉で生粹の煙溝ッ子であるが李杜が反滿の擧兵をするやつまらない所に義氣を感じて三千の部下を率ゐて馳せ參じ以來煙匪高玉山の名を以て全滿に知られてゐた、然し天は惡に與せずで遂に一敗地にまみれ部下を率ゐてソ領內に脫走したがその後の情報によるとソ聯は最初のうちはチヤホヤしたらしいが最近では强制勞働を命じてゐるとのことである、彼等にとつて煙溝は生れ故鄕であり、且阿片の收穫稅のある頃は町に出で女を掠奪して歸り日夜酒と女と賭博の地獄繪を展開してゐたのだからその味はなかなか忘られぬらしい斯うした魔境煙溝も一度彼等が反滿抗日の旗幟を揭げて政治的策動をなしたのが運の盡きで、新國家の彈壓は下り往昔の夢破れて今は煙匪に代り吉林軍が駐屯し、專賣公署の官吏が詰かけるやうになつた、こゝで生產される阿片は熱河ものより上等で、所謂煙溝ものゝ名で滿洲は勿論北支上海方面に迄その聲價が謳はれてゐる、尙年生產高は平年二百五十萬圓と云はれてゐる（寫眞はウスリ附近におけるソ聯の漁夫、鮭をとつてゐるところ）

滿洲体育聯盟が 東洋体協 入會決定

近く正式手續きを執らん

【東京國通】日本体協は日滿スポーツ關係調整の爲め渡日した滿洲体育聯盟理事難波、飯澤兩氏を迎へて懇談の結果、今春の極東大會參加問題以來紛糾を續けた一切の過去を解消して親善の第一步として滿洲國は新東洋体協入會に決し、近く本國と打合せの上正式手續きをとる事となつた

体育代表會見 提携全く成る

【東京國通】滿洲体育聯盟の飯澤、難波兩氏は既報の如く二十七日午後五時丸の內中央亭で日本体育協會の平沼副會長、鄕名譽主事、小川名譽會計主事以下各事務理事と會見先づ滿洲國側より舊滿洲体協の解散、新体育聯盟創立の經過を報告し過去にこだはらず卒直に新体育聯盟と日本体協との緊密なる提携を申出たところ日本側もこれを諒とし欣然相提携、相互の進展に努力することを約した、これによつて極東大會以後の兩者のわだかまりは全く氷解したので体協では來る三十一日理事會を開催し以上の成行きを報告して承認を求むることになつた、提携成立の模樣を滿洲兩代表は直ちに新京本部に打電その訓令に基いて東洋大會加盟の手續きを執る事になり、更に日本体協は滿洲側の希望により米國陸上チームの渡滿日滿蹴球對抗の企圖等に斡旋することを快諾した

近く役員會で正式決定

東洋体協參加要請の爲滿洲國側体協より派遣された難波、飯澤兩理事は目下東京に於て日本体協との間に種々懇談を重ね、大体加盟と決定したが尙來る九月上旬東京に於て比島側クエソン、バルガス正副會長出席の下に開催される東洋体協第一回役員會に於て正式に加盟を申出る事になつた

中秋上大祀 鄭總理代拜

九月十三日は中秋上大祀につき皇帝陛下には當日南關の孔子廟に鄭國務總理を代拜せしめられることゝなつた

中央警察學校 陸上運動會

滿洲國中央警察學校は來る九月一日西公園で同校第一回陸上運動會を開催各種競技を行ふ

足球大會第一日

五對零で新京勝つ

斯民社主催の第一回都市對抗足球戰は廿七日午後二時丁交通部大臣、遠藤總務廳長の初蹴式を了り、午後二時より新京對吉林戰、リフエリー佐藤氏、線審內海酒井兩氏審判の下に吉林先蹴で開始、新京終始優勢、五對零で新京勝、閉戰二時四十分

新京五（一—〇 四—〇）〇吉林

ハルビン大勝

第一回全滿都市對抗足球大會ハルビン對奉天戰は新京吉林戰終了後午後三時三十分ハルビン先蹴にて開始ハルビンのワンサイドゲームに終始して七對〇で奉天敗退、閉戰四時四十五分

主審 佐藤　線審 酒井、內海　七（三—〇 四—〇）〇奉天

關大野球軍 三十一日來征

關西大學野球部員は來る三十一日朝來京、同日午後四時から西公園球場で滿洲國軍球團と對戰、翌一日は午後四時から同じく全新京軍と一戰を交へる

商業職員生徒 庭球大會

商業學校では二十八日午後一時から同校々庭で職員と生徒の合同庭球大會を行ふ

けふ

一燈園講演會 京都鹿ケ谷の一燈園三上和志氏の講演會は新京光の會主催、地方事務所後援の下に廿八日午後七時から家事講習所で開催されることになつた來聽歡迎

仙人掌

▲二十八日次のやうな街のニュースが仙人掌子に報ぜられた……▲町のニュースお報らせ!!（飛降自殺）、めつきり涼しくなりました、お變りありませんか▲廿七日午前十一時五十五分本城ビルのベランダから一匹の黑犬が飛降り自殺しました▲遺書も何もないので判明しませんが多分厭世自殺でせう、見てゐたのはノラクラの主人だけでしたからヤレ『自動車に轢かれたのだ』『自轉車だらう』、なんて大變な騒ぎでした▲鼻から多量に出血、三十分位呼吸してゐましたが遂に絕息しました▲柳屋のウキンドをのぞいてゐた滿洲婦人の鼻の先に落ちたので彼女は色を失つて逃げたはコツケイ……

不良分子の一掃に努める

新京署大童の活動

高粱繁茂期に乘じ匪賊團は附屬地の隣接地に續々と出沒してゐるにかんがみ新京署では八月九日から一ケ月間を四期に分け夏期特別警戒に努めてゐるが最近當局の警戒網を潛り市內に潛入し又は阿片、モヒを密賣する多數の不良分子があるのでこれが取締の徹底を期するため既報の如く同署では二十七日午後七時から同十一時まで全署員を召集し全市に亘つて一齊臨檢を行ふと共に阿片窟を襲ひ不良者日滿鮮人三十七名內日本人三名、朝鮮人五名、滿人二十九名を檢舉した、同署ではこの際治安確立をはかるため不良分子の掃蕩に努めると

けふの銀相場

國幣對金票 [illegible]
鈔票對金票 [illegible]
國幣對鈔票 [illegible]
國幣對現大洋 [illegible]

街の日記

故岩永副參事官 遺骨あす着く

ハルビン郊外で汽船營口が襲擊された際匪賊から拉致慘殺された岩永虎林縣副參事官の遺骨は二十九日午後三時二十五分新京驛着の豫定である

馬場憲兵隊長 けふハルビンへ

馬場新京憲兵隊長は事務打合せのため三日間の豫定で二十八日午前八時三十分ハルビン憲兵隊に出張した

佐藤實氏 獨立開業

日本橋通りの老舖平本洋行に十余年在職し模範店員として信用厚き佐藤實君は今度東一條通り小關樂器店を讓受け經營する事となつた、從來の蓄音機レコード樂器類の外に洋服類等手廣く營業する事とて敏腕家たる佐藤氏の獨立顧客より期待せられてゐる

長春座新幹部 就任披露

株式會社長春座は先頃專務以下更任したので二十六日午後六時から料亭曙へ地元新聞記者を招待、湯淺專務外一同列席就任挨拶を述べ湯淺專務から會社經營の抱負を述べ理解ある援助を乞ふところあり寛いで歡談九時頃散會した

大信洋行 新社屋移轉

建築材料及金物塗料雜貨工事請負等手廣く活躍中の老舖株式會社大信洋行では周知の如く昨春來日本橋通り八十三番地に工費十二萬圓を以て地階とも四階建新社屋建築中であつたが、此程竣工したので二十六日の吉日目出度く移轉した

拾ひもの

▲新華街五八號馬車夫孫御榮氏は二十六日午後五時三十分ごろ新發屯から孟家橋まで乘車せしめた滿人が大工道具一式を置き忘れてゐるを發見した

▲永樂町二丁目美鈴洋行內中川光平氏は二十六日午後五時三十分ごろ三笠町カフエー三笠前路上でクローム側腕卷時計一個を拾つた

盜難一屆

▲新發屯県智路集合住宅西山唯次郎氏は三笠町二丁目大田シズさん方二階四疊半の間で多オーバ外一點時價三十圓を窃取された

▲錦町四丁目七の三久和田昌藏氏は二十七日午前八時から同午後七時の間賊は表硝子窓を破り錠前を外ずし侵入、夏服脊廣三揃外二點時價百圓を窃取された

▲日本橋通八一すきやきこと有出千黑氏方所有自轉車一台時價四十圓を二十七日午後六時から同八時の間に自宅前で窃取された

新版 江戸八景

（禁上映） 行友李風腳作 鏑木平他二氏畫

一四て 江戸職人と 女郎娼妓 五 高桑義生

今もその話をしたが、刀を持つてゐるからにあ大抵武士ときまつてらあ。その武士を對手にただ一太刀で殺つけるといふなあ、こりやよつぽど腕が出來る男に違えねえといふんだ。』

『なるけどそりやさうだらう』

『ところで不思議なのはその男ぢやねえか。刀のほかはたとへ百兩が千兩持つてゐたつて、手も觸れねえといふんだ。一體此奴はどういふ考へで刀ばかりを盗るのか正月の末から殆んど毎晩のやうに殺られるといふんだから、もう十人やそこらは殺られてゐるに違えねえ。お上も手がゝりがつかねえんで、困つてるといふ話なんだ』

「だからうつかり刀を持つちやあ歩けねえ。其處へ行くと、此方とらは安心なもんよ。武士と違つてねらはれる心配はねえから、夜夜中だつて大手を振つて歩けるんだ。」

「さうだとも。俺あ武士ならいい刀なぞは持たねえ事にする。武士の魂だからいい物を差さなくちやならねえつてえのはわかつてるが、そいつのために手前の命をとられちやつまらねえぢやねえか持つてゐたとしたら、先づ手前が殺されねえうちに、手前の刀を殺しちまはあ。さう云ふ物なら質屋だつて張り込んで貸すだらう。當分奴の顔が見られるといふもんぢやねえか。」

「何をいつてやがんだ。手前のやうな助平な奴はありやしねえ」

「あつはゝゝ何しろ物騒な事になつたもんだ。しばらく試し斬の噂も聞かず、まづ大平の世の中と思つて安心してるりや、またそんな奴が現れるんだからな」

その時喜多八の方は口を出した。

『まつたくでさあ。昨日も或るお武士が來ての話しには、恐らく犯人は腕の利く浪人だらうつて云ふんでさあ。昔の辨慶ぢやねえけれど、千人斬の噂も満更根なし事ぢやねえんだね。』

『世間ぢやいろんな事をいふからね。』

『だが、さういふ陰謀なら大勢仲間がある事だらう。今度の刀盗の遣り口はみんなひとつだといふぢやねえか。こいつあ矢張十人斬の方が的だらうぜ』

『それぢやあ刀の方はどうしてくれる？ 千人斬なら何も刀をとらなくたつて濟むぢやねえか。』

『そりやさうだな。すると由井正雪の二の舞でもなけりや、五條闇の辨慶を氣どるんでもねえとすりや一體こいつは何のためかな」

「ちよつ、御用聞ぢやあるめえし、何も手前が心配するがものはねえや。」

「ところが其處が人情てえもんだ。わからねえとなると、尚更その根を知りてえもんよ。」

「さうだとも。いいか、考へてみねえ。まづその刀盗りが毎晩のやうに出るとした處で、必ず殺られるのは一人だらう。おまけに遣り口が一つたんだからどうしたつて同じ一人奴に違えねえんだ。ところで、目的は何かと云ふと、きまつて名のある刀だ。つまり、こ奴が何より不思議ぢやねえか。何も名のある刀を取りてえばかりなら、この暑い夜夜中、忍え忍ひをして人一人殺さなくたつてすむと思ふんだ。手近にや立派な刀屋も何處の國の藏にだつて、五本や十本の召作はねえ筈がねえんだ。其處へ忍び込めば手數がかからず何十本でも盗めるぢやねえか。俺あ何よりもこ奴が不思議でたまらねえんだ。

八方 水曜 壬申 友引 建 箕宿 八月二十九日

- ●一白の人 外界に注意し中途にて挫折せざる様すべし 丙と申と寅が吉
- ●二黒の人 人の言に誘はれて意外の失敗を招く事あり 丁と癸と寅が吉
- ●三碧の人 他の厚情を受けて事業次第に發展を見る日 乙と丁と申が吉
- ●四綠の人 徒に策を施さんよりも堅實に働くがよろし 丙と申と寅が吉
- ●五黄の人 活氣殺れて自由は失はれ進路塞がる不良日 丁と癸と丑が吉
- ●六白の人 一喜一憂兎角安心の出來がたき日自重せよ 甲と乙と寅が吉
- ●七赤の人 心を締め實直に身を保てば案外の効果あり 丙と丑と寅が吉
- ●八白の人 外廻りには心配なけれど内容の充實を計れ 癸と丑と寅が吉
- ●九紫の人 吉運次第に長ぜんとする日諸事進んで宜し 巳と丁と壬が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪行）

×印二三等船客設備船 ▲印廣島寄港

（午前十時大連出帆）

船名	出帆日
うすりい丸	八月三十日
ばいかる丸	八月卅一日
×志あとる丸	九月二日
扶桑丸	九月三日
はるびん丸	九月四日
亞米利加丸	九月五日
うらる丸	九月六日
▲香港丸	九月七日
×たこま丸	九月九日

切符發賣所

滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパンツーリストビユーロー案内所

船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月）

專屬荷扱所

各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社

大連支店電話四一三七番

奉天出張所電話四〇八九番

新京出張所電話二二一六番

新京より京圖線ヲ通ジテ日本ニ行ク最捷路

滿洲行

日鮮滿連絡船	敦賀	清津	羅津	雄基	浦汐
滿洲丸	毎二の日 午二時発	毎三の日 前七時着 前十時発	毎三の日 午二時半着 午四時発	毎三の日 午六時着	／
天草丸	毎六の日 午三時発	毎八の日 前十時着 后二時発	／	毎八の日 前六時着 后九時発	毎九の日 前八時着

日本行

日鮮滿連絡船	浦汐	雄基	清津	敦賀
滿洲丸	／	毎六の日 前六時発	毎六の日 后四時発	毎八の日 前八時着
天草丸	毎〇の日 后三時発	毎一の日 未明着 前九時発	毎一の日 午三時着 后七時発	毎三の日 后三時着

北日本汽船株式會社 清津 雄基 羅津代理店 國際運輸株式會社支店

商用四寶 新彩社 電話二六〇五番

新京日日新聞
朝刊
本紙夕刊共八頁
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

關東軍線區當局 損害額控除を通告
赤色テロ跳梁の因果應報
北鐵の回答注目さる

コミンテルンの指令下に北鐵線上に跳梁する赤色テロの反日滿工作は最近益々露骨化し我軍用列車襲撃の背後には必ず彼等の

＝魔手＝が伸びてゐると斷定して差支へなき程幾多の確證が擧つたので、關東軍線區司令部ハルビン支部長は去る八月九日付公文を以て北鐵管理局長クズネツオフに宛て日本軍が北鐵に對し支拂ふべき運賃中より列車事故によりて生ぜる損害卅七萬余圓を控除する旨を通告した、右は日本軍が滿洲警備に任じて以來昭和七年春ハルビン郊外に於る我軍用列車爆破事件を始めとし、南部西部東部各線に亙り大小無數の悲慘事の背後には悉く赤色テロの恐るべき陷井があり、而して事故の發生する時は云ひ合せた樣に北鐵ソ聯從業員が難を免れ最近では六道溝附近の列車顚覆の際の如きは遭難現場より一驛前にて從業員家族は下車し、我警乘兵の座乘車輛を最も危險な個所に連結するなど赤色テロがソ聯側從業員と同一人であるか左もなくば之と密接な

＝聯繫＝あるは火を見るよりも明かであつて、遂に隱忍自重せる關東軍線區當局もその責任を明かにする意味に於て、又當然の主張として我損害額控除を通告するに至つたもので本通告に對し北鐵管理局長の回答には未だ接せざる模樣なるも成行き注目されてゐる

滿洲炭鑛 第一回株主總會

滿洲炭鑛會社の第一回定期株主總會は廿八日午前十時よりヤマトホテルで開催、實業部財政部、中央銀行、滿鐵等關係者出席、左記二項を承認會合十分餘で散會した

一、第一回營業報告書、貸借對照表財産目錄及損益計算表承認の件
二、損益金處分案承認の件

印度志士シュフトラ氏新京へ

【奉天國通】東京で開催された汎アジア佛教青年大會に出席した印度の志士アゼン大學教授シュフトラ氏は二十六日來奉二十七日午後四時より妙傳寺に於て同氏を中心に衞藤奉天圖書館長、中山縣參事等集り大亞細亞建設に就て意見を交換し、道義に基く全亞細亞主義を强調して散會、午後十一時四十分發列車で新京に赴いた

滿洲國辭令

任哈爾濱警察廳警佐(委任一等) 谷内邦廣
轉任本溪縣屬官(委任二等) 岫巖縣屬官 脇野光義
轉任岫巖縣屬官(委任二等) 黑山縣屬官 欅爪武幹
轉任西豐縣屬官(委任二等) 本溪縣屬官 宮崎惣平
西豐縣參事官代理を命ず 西安縣屬官 永野慶二
轉任康平縣屬官(委任二等) 彰武縣屬官 白水清
轉任撫松縣屬官(委任三等) 黑龍江省公署屬官 伊藤博
轉任龍江縣屬官(委任二等) 密山縣屬官 稲田晴夫
密山縣參事官代理を命ず

ソ聯側の在滿機關 引揚斷行は事實か
先づ駐奉總領事本國へ歸還

【大連國通】確實なる方面の情報によればソヴイエート聯邦は北鐵讓渡交渉の失敗以來在滿ソ聯各機關の本國引揚を企圖し先づ駐滿通商代表部に屬する各地支部の閉鎖を斷行すると共に北鐵軍要幹部に本國歸還を命じ、次で在滿領事館總領事館の閉鎖、館員の引揚げを行ふもの〻如く、近く奉天駐在總領事の引揚げを皮切りに各地領事館(但しハルビンを除く)を閉鎖、滿洲より退却せんとするは事實と解せられる

ソ聯極東に 四州を新設

全ソ中央執行委員會は極東地方に於ける產業經濟の統制を行ひ極東地方の實力を養成する爲め、從來の極東四州、即ち沿海州、アムール州、勘察加州、サガレン州の外に左の四州を新設し行政區劃の變更を行ふ事となつた

州名	中心都市	區域
一、ウスリー州	ニコリスク市	ニコリスク區外八區
二、ハバロフスク州	ハバロフスク市	ナリーニン區外六區
三、ゼイヤ州	ルフロフ市	モゴチンスク區外五區
四、下部アムール州	ニコライエフスク市	現アムール管區オコツク管區内各區

岡田内閣の使命 選擧肅正愈よ開始
經費四十萬は豫備金から支出

【東京國通】内務省では選擧肅正は岡田内閣の使命なるに鑑み、選擧肅正費百三十萬圓を明年度豫算に計上したが、これが即行を期する爲めに本年より始め必要な經費は豫備金より支出せよとの意見を有し事務當局に調査を命じた、その結果事務當局は十月より運動を開始しこれが經費四十萬圓を豫備金より支出することとなり二十八日大藏省に事務折衝をすることになつた、斯くて十月より各府縣に選擧肅正委員會を設け選擧革正の爲め運動を行ふ豫定である

氷不足に惱む
困雄生

夏の冷氷は酷熱の征服、腐敗の防備斯うした大使命を持つて居る一般家庭に取つて無くて成らない必需品だ、まして今日此頃の樣に蒸し蒸しする天候では一層此れが必要である事を痛切に感ずる此れは私一人のみでは無いと思ふ、而るに氷は不足だ宗全に不足して居る衞生の見地より在來の天然氷に斷乎販賣の禁止を命じ、責任を以て此の大使命を背負つて立つた製氷會社、私達は此れが創立を心から喜んだ衞生的で安價で迅速に配給される事を期待して居つたから、だか期待は完全にノックアウト、電話を何回かけても心よく配達された事が何度あつたらふか此處數日私の家は冷藏庫に一片の氷も見出せない唯品物の腐敗した惡臭のみ

先日私の友人の細君が急に發熱され早速祝町にある製氷會社の直賣所を敎えられて買いに行つたが氷が無いと斷わられ止むなく水で冷して居たが思はしくないので仕方なく市場へ飛んで行き魚屋迄に譯を話して三拜九拜ヤット二貫目の水を分けてもらつて來て間に合せた、四十度の高熱にウナサレて居る病人を前にして冷ず氷のない程心細いものはないよと哀んで居たが本當に同情に耐えない、北滿の大都市新京に氷が不足何と慘めな話ではないでしようか又

『氷が不足』と言ふ言葉に對し解し難い氣もするが而し事實だから仕方がないをそらく私一人じやない、一般市民も困り切つて居る事と思はれる此れに對し當事者たる警察署衞生課の方々や製氷會社の責任者は何等かの方法を講じて居るのでしようか、まさか此の實狀を知らぬ顏で通そうとして居るとは思はないが、ニガイ體驗に遭遇して居るま〻に今後より一層の御配慮を切希致す次第であります

未だ若いが 露西亞通の敏腕家
三井物產出張所長 中山佐吉氏

新京の財界に輝く人々 (十一)

三井財閥を背景とする三井物產株式會社の新京出張所長中山佐吉氏は大正五年に東京外國語學校の露語科を出るとすぐ三井物產に入社し、浦汐に駐在を命ぜられて約六ヶ年間を對シベリア、對露取引に關係しその後大連に六ヶ年ハルビンに一ヶ年勤務したなかなかの露西亞通である、現在三井には百余の出店があり支店出張所、出張員、派出員、駐在員、常置員と區別されてゐるが、そのうち支店と出張所は各十ヶ所で支店長の大部分は明治時代に入社した人、出張所長は全部大正五年以前に入社したんであるから氏は出張所長としては最も若いクラスである、然し若いといつても今四十台の働き盛り入社後十八年になるのであるから世間的には決して若いといふ方ではあるまい、氏は新京の九代目の出張所長であるが三井の人事は隨分行詰つてをり、世間の人が考へてゐる如くこ〻ではそう簡單に支店長とか出張所長にはなれないのでそこに三井の强みと力があるわけであらう

三井の新京出張所開設は明治三十九年で日本商人としてははけだし先驅者である、事業としては特產物の輸出砂糖、麥粉、麻袋、セメント、諸織物、諸機械などの輸入および火災保險を主としてゐるが、滿鐵邊の統計によると新京輸出入重要品の三割余が三井の手にか〻つており、現在では氏の下に二十余名の日本人と滿人四十余名が働いてゐる

新京における三井の關係事業では三井物產の外に東洋棉花三泰棧、三機工業の各姉妹會社がある、氏は店勢に總てを打込んでゐることがやがては國恩に報ゆるものであると懸命に働いてゐるが店勢以外には商工會議所の常議員、縣人會の會長、何々組合の役員と他にも色々關係してゐるので全く席の溫まる暇もない多忙な身である

佛像蒐集家で 滿洲マッチ界の双壁
日清燐寸社長 前田伊織氏

寶山燐寸の工場主前田伊織氏は廣島縣の人で宗敎家の出である、氏は崇德中學校在學中から既に實業界に入ることを決心し、卒業直後たまたま同郷の商坂萬兵衞氏が鄕里廣島に燐寸工場を經營してゐたので、す〻められて同工場に入つたのが宗敎家から實業界に身を轉じた第一步である、歐洲大戰の結果一時化學工業の全盛時代があつたので鹽酸加里の製造に從事してゐたこともあつたところが大正八年前の日清燐寸工場主高坂氏が長春に日清燐寸株式會社を設立するに當り氏は望まれてこれが專務取締役として渡滿、氏の滿洲における燐寸事業はこ〻に根を下したのである

大正十一二年ころ端典燐寸が十四億の資力で世界各國の燐寸事業を統一せんと、三百五十萬圓をもつて滿洲に手をのばしてきたとき滿鐵、關東廳その他關係者は長いものには卷かれよのたとへ、この際滿洲の各燐寸會社も相當な價格なら買收に應ずべきであると一般の輿論はあげて買收さるべきであるとしてゐたとき、氏はこの輿論を斷然と退りぞけ昭和二年自力をもつて寶山燐寸工場を設立してこれに立てこもり最初から意見を同うして同一步調を誓つた長春燐寸工場主佐藤精一氏と共に……吾々が苦折やつと今日まで育てあげてきた滿洲の燐寸事業をなんで外人の手に渡してなるべきか、敵に十四億の資力あれば我には意氣と熱があるたとへ失折れ彈つきるとも決して白旗はあげないと悲壯な決心をもつてこれに肉迫したので、最初は二人の身に罵聲を放つ者もあつたが惡戰苦鬪遂ひに數年にしてきでにた〻つけてこれを軍門に降らしめ、十四億の資力を顏色なきまでにた〻つけて今日では佐藤氏と共に滿洲燐寸界における双壁とまでいはれるやうになつた

氏は現在寶山燐寸の工場主である以外に燐寸關係では日清燐寸の社長、吉林燐寸の取締役、吉林製軸の代表、滿洲燐寸購買承辦處代表、大興號代表などの要席にあり、その他十數ヶ所に投資して日夜非常に繁忙をきわめてゐるが、一方佛像に趣味をもつて多數の佛像を蒐め、なかには國寶にも指定さるべきものがかなりあり、日本から來る專門家は必ず氏の門を叩いてこの參觀を乞ふといふ有樣である、さすが宗門の出だけに普通の實業家にみられぬ上品さをもつてゐるが、事業に關しては又獨特な手腕をもつてゐる

木税法けふ公布
輕減統一改正された
九月一日から施行

從來滿洲國の木税に關する法令は各省區々で殊に税率しく異なり吉林黑龍江省の如きは二割乃至三割の高率にして奉天省等に比すれば數倍に達し且附加捐の限度を定めて木税の負擔を輕減する爲左記木税法を制定九月一日から實施されることゝなつた

木税法

第一條　木税は木材を其の伐採地より搬出するとき其の搬出者より之を徵收す但し財政部令の定むる所に依り税捐局長の承認を得て木税未納の木材を搬出する場合に於ては税捐局長の指定したる場所に到達したるとき之を徵收す

第二條　木税の税率は木材の價格の百分の八とす但し木牢に付ては其の價格の百分の四とす前項の木材の價格は課税地最寄集散市場に於ける木材の時價を基準として税捐局長之を決定す

第三條　税務官吏木税甫脫を防止する爲必要ありと認むるときは木材の伐採者、木材の運搬者、木材業者其の他の者を訊問し、木材若は之に關する帳簿書類を檢査し、罪證となるへき物件を押收し又は木材の運搬の停止其の他必要なる事項を命ずることを得

第四條　木税を甫脫したる者は木税を徵收するの外甫脫税額の一倍以上十倍以下の罰金に處す

第五條　第三條の規定に依る税務官吏の職務の執行を阻害し、其の訊問に對して答辯を爲さす若は虛僞の答辯を爲し又は其の命令に違反したる者は三百圓以下の罰金に處す

第六條　地方團體は主管部大臣の定むる所に依り木税の百分の二十五以内の附加税を課することを得

附則

地方團體は前項附加税を課するの外木材に對し一切の課税を爲すことを得す

本令は康德元年九月一日より之を施行す

木材の課税に關する從前の法令は之を廢止す

本令施行前徵收を猶豫したる木材に對する税金にして其の徵收期日が本令施行後に於て到來するものに付ては第二條の税率に依り之を徵收す

參考資料

一、改正税率と舊税率との比較(木牢は除く)

省別	區分	舊税率	改正税率
奉天	鴨綠江材	從價百分の六、六	從價百分の八
	其の他	七、六六	八
吉林	哈爾濱	二〇、六六	
	木税局	二五、二	八
黑龍江		三三、八	八
熱河		一四	八

備考　奉天省の税率は事變當時の税率を掲げたり、現行木税税率は從價百分の一、五なり

財政部令

木税法施行規則

第一條　木税の納税義務者木材を伐採地より搬出するときは其の伐採地所轄税捐局に當該木材の種類、名稱、數量、價額及伐採地を申告すへし

第二條　木税の課税標準は前條の申告に依り、申告なきとき又は申告を不相當と認むるときは税捐局長之を決定す

第三條　税捐局長木税を徵收せむとするときは其の税額を納税義務者に告知すへし

第四條　税捐局長木税を徵收したるときは納税義務者に納税濟證を交付し且當該木材に税訖印を押捺すへし

第四條　木税の納税義務者伐採地より搬出する木材に付木税法第一條但書の規定に依り其の到着地所轄税捐局に木税を納付せんとするときは當該木材の種類、名稱、數量、價額、伐採地、到達地及到達豫定日を伐採地所轄税捐局に申告し其の承認を申請すへし

税捐局長前項の申請を承認するときは第二條の規定に準じ其の木材の價格を決定し申請者に木材保税運照を交付すべし

第五條　税捐局長前條の承認を爲す場合に於て必要ありと認むるときは納税義務者に對し確實と認むる納税保證人を立てしむることを得

第六條　第四條の規定に依り木材運送の承認を受けたる者其の運送を了したるときは到達地所轄税捐局に木材保税運照を提出し直に税金を納付すべし

前項の場合に於ける木材の課税標準は第四條第二項に依り決定したる價額とす

第七條　木材を運送する者は其の運送中當該木材の納税濟證又は保税運照を所持すべし

一通の納税濟證に表示せられたる木材を分割して運送せんとする者は當該木材の所在地所轄税捐局に其の納税濟證を提出し分割納税濟證の下付を受くべし

附則

本令は康德元年九月一日より之を施行す

關東廳々員 きのふ秘密會議開く
在滿機構改革反對益す强硬

【大連國通】在滿機構改革問題に關し關東廳員は益々目的貫徹に强硬なる態度を示して居るが廿八日午后零時半から廳內第一應接室に御影池大連民政署長以下各民政署長の會合を求め日下中村兩局長其他各關係者列席極秘裡に協議するところあつた

民間貸付金回收の具体策を考究
大藏當局新財源捻出に沒頭
千二、三百萬浮くか

【東京國通】大藏省では明年度豫算編成に當り新規財源の捻出に就いて考慮を重ねてゐるが、廿七日省議を開催し先づ之が對策として一般會計の歲出に基く公共團體に對する貸付金を

＝整理＝する事に決定した、卽ち關東震災復舊費用を主体とする政府の東京府市、神奈川縣橫濱市等に對する貸付金は總額二億三千萬圓餘の巨額に達し、昭和九年三月末現在に於ける元利延滯を含む未償還金總額は一億九千五百七十一萬八千圓となつてゐる內既往の元利償還義務資のみを見ても一億一千五百十九萬圓に達してゐるに拘らず償還濟みのものは僅かに三百八十九萬圓に過ぎず地方公共團體の豫算に於ても政府に對する償還金を全然計上しておらぬものが多く、國民の負擔に於て復習したものが國家財政の困窮の際返濟義務を怠ることは不穩當であるとの見地から、大藏省が主動的立場に立つて內務、文部、外務、拓務等の關係各省と協調して右貸付金回收に關する具体策を練る事になつたものである、尚回收せんとするもののうちにはブラジル、天津靑島等の居留民團に對する

＝貸付＝も當然問題となるべく、之等貸付金回收によつて政府は年額千百萬圓乃至千三百萬圓の增收を期してゐる

大橋次長以下 隨員一同 皇帝に拜謁

去る十九日東京を引揚げ歸任した北鐵讓渡交渉滿洲國代表大橋外交部次長以下隨員一同は二十八日午前十一時宮內府に參內、親しく皇帝陛下に拜謁仰付けられ大橋次長より一年二ヶ月に亙る交渉經過を詳細言上の後同十一時四十分退下した

偶語

全國旅館業者の一行は來月十一日來京する、總勢二百五十名以上にも及ぶといふから、大したもので、數日間滯在して其の間大會を開きまた國都建設狀況その他を見學することになつてゐる▼これについてが十九日に來京、これも新京で總會を開くことになつてゐるが、大會はどうせお座成り的のものとしても、かうした同職の人々が多數打揃つてわが國都を訪問し、認識を高めることは誠に結構なことだ▼中學校の校長さんと旅館の御主人では、何だかかけ離れたもののやうでもあるが、教育者には澤山の子弟があり、旅館業者には日々變つてゆくお客さんといふ相手がある▼かうした人々を通じてわが新京の眞相を廣く一般に紹介して貰ふことは、最も効果的で全國津々浦々に及ぶであらうから、宣傳價値はまさに百パーセントともいへる▼たゞ來京者に望むところは認識を誤らず、靜かに新京の實際を把握し、これを土產に母國の人々に傳へて貰ひたいといふことだ▼それがためには第一案內役がまじめに新京そのものを紹介してか〻らなければならない、自分よがれの誇張や出鱈目であつては可けない、徒らに滿洲熱をそ〻るやうな空宣傳はこの際大禁物である

新大臣の臺所覗き

只の訪問記は面白くないといふので漫談家の大辻司郎君が臺所から大臣令夫人を訪問、大臣生活の裏側をスケッチした記事が日の出九月號に發表されたが、雜誌界近來の面白い讀物だと大評判！

來年度高女希望 悠に三百名を突破
更に高女一校新設の叫び 各方面から擡頭

建設へ一路勇躍する國都新京の發展につれて人口の增加もまた目覺しいものがある、この急激な膨脹に伴つて市民の子女の教育機關が增設されないため首都新京に教育難を現出するといつた有樣で憂慮されてゐたがこの程女學校增設の聲が各方面から擡頭して來た小學校は現に第三、第四小學校が設立中でこれが完成の曉は入學難もぐつと緩和される事となるが、女學校は新京高女一つだけで室町、西廣場兩校の卒業生中女學校入學希望者の僅か半分しか收容出來ない狀態で、これに新京附近の吉林、公主嶺、四平街など諸地方の希望者を加へたら來年度女學校入學希望者が三百名以上は間違ひないがこの半數以上は入學出來ないこととなるので、せめて教育だけは希望通りにさせたいものと各方面から女學校增設が叫ばれたものである

西廣場校は依然轉入殺到
近く增級實現せん

西廣場小學校では去る十六日第二學期始業と同時に百四十四名の新入學兒童が押し寄せ職員を驚かしたことは既報の通りであるが、その後も轉入希望者續出して校内はさながら兒童の洪水である、二十七日は十二名、二十八日は正午まで八名の新入生があつた程で第二學期開始以來今日までの新轉入者は二百名を超へ總兒童千八百名といふ驚くべき數字を示してゐる、同校では先きに四學級增設の申請手續をしたが、未だに實現されないので地方事務所を經て毎日滿鐵學務課へ增級實施を急いでゐるので近く實現するものとみられてゐる、なほ十月末頃から十一月にかけて各官廳會社の官舍社宅並に一般住宅もどしどし完成され在京邦人が内地から家族を呼ぶものとみられ、兒童數の激增も豫想されてゐるので現在建造中の第三小學校の完成を急いでゐるが、九月下旬には全校の落成は見ないまでも五學級位は完成されるらしく、これが完成された曉は現在の如き授業上の困難も相當緩和されるだらう

新京驛は繁昌
客貨とも昨年以上

矢繼ぎはやに入り込んで來る旅行視察團體、新來邦人、移住滿人等々で新京驛の乘降客は七月の水害續出も尻目に續々增加してゐる、從つて新京驛の客收入も著しく增加して斷然黑字振りを發揮した、新京驛の七月中における業績は乘客四萬四千二百廿三名（昨年同月三萬六千三百三名）運賃二十二萬四千二百六十七圓（前年同月十九萬三千百七十九圓）發送手小荷物一萬八千八百三十九個八千二百三十七圓（前年同月一萬四千八百九十四個八千三百九十七圓）合計二十三萬二千五百四圓（前年同月廿一萬一千五百七十六圓）降客七萬一千七百五十七名（前年同月七萬四千百六十五名）到着手小荷物三萬三千九百八十個（前年同月三萬三千四百十九個）

嫩江鐵橋開通

工費五百萬圓一年半を費して完成された嫩江の鐵橋は廿六日午後二時同工事場に於て周兆南鐵路局長青木建設局長等參列開通式を行つた（寫眞は完成開通した同鐵橋）

新京全市に亘つて消火栓網敷く
火災期の來月中旬迄に完成

新京全市街に設置された從來の消火栓は總數二百七十九個に過ぎなかつたが、人口增加とゝもに家屋稠密のため、消火の萬全に遺憾なきを期せんがため新京地方事務所では昭和九年度の事業費四千五百圓を投じ全市に亘つて新に十數個所に消火栓を增設することになり、既に市瀨工務所がこの工事に着工した、新設工事の完成は火災期前即ち來月中旬の豫定である

在支鮮人の反滿抗日運動
先鋒隊は入滿準備
一、暴動班長 柳基弘 外三十名

【奉天國通】支那各地に散在する鮮人民族主義者は南京政府より支援を受けその勢力侮り難いものがあり、現在杭州に義烈團長金元鳳、四川に柳東悅、南京に李胄天なるものが夫々派を唱へ鮮人の訓練をなしつゝあるが、最近某機關に達した情報によれば南京にゐる金九一派は前記各派を糾合して中韓互助會なるものを組織し

一、滿洲國の經濟機關調査
一、舊東北系要人の動靜
一、滿洲國内に於ける交通並に通信狀況
一、同阿片政策及び販賣狀況
一、日本の移民政策

等各般に亘る調査をなす一方宣傳或は暴動工作をなす等反滿抗日の積極運動に着手したものの如く既にその先鋒は滿鮮に潜入すべく行動を開始した模樣である、なほ右先鋒隊の組織内容左の如し

一、調査班長 金東寧 外五名
一、宣傳班長 李榮采 外五名
一、通信班長 姜晩湖 外五名

岩佐憲兵隊司令官初巡視

關東憲兵隊司令官岩佐少將は管下初巡視の爲め廿六日午後十時發列車で稻垣高級副官、末松大使館理事官、福田關東廳警視を帶同し奉天へ向つた

志方、鈴木、汐見三博士來滿

【大連國通】志方益三、鈴木梅太郎兩農學博士及び汐見三郎經濟學博士の三教授は各々滿洲視察のため廿八日朝入港のうすりい丸で來滿したが、志方、鈴木兩博士は來る九月二日奉天に於ける第二回農學會に出席し汐見博士は滿洲國財政に關係あるため直に新京に赴く筈である

ダイヤ犯人不明

夕刊既報、日本橋通三三洋服商富來長こと榎本富太郎氏のダイヤ入プラチナ指輪盗難事件に就き引續き搜査を行つてゐるが未だ眞犯人を檢擧するにいたらない

茂林洋行の雇人持逃げ

三笠町四丁目五番地茂林洋行森定三氏方廣島縣生れ新見大吉（四三）は六月下旬同家に雇はれてゐたが、本月二十四日午後六時三十分ごろ同家の現金三百八十圓を拐帶逃走した

北滿の炭疽病日增しに猖獗
南下形勢憂慮さる

【ハルビン國通】二站、大黑河間を通ずる○○線沿線の炭疽病は日に日に猖獗を極め廿七日現在の斃死馬牛の數は既に二千數百頭に達し沿線農民所有牛馬頭數の半數に及ばんとしてゐる、一方滿鐵、日本軍、滿洲國から派遣された防疫班一行は不眠不休で防疫に努めると共に沿線住民に豫防注射を行ひ人間への蔓延を極力防止してゐるが既に五十名以上の苦力農民が炭疽病で斃れ引續き蔓延の兆あるので當地日滿官憲では炭疽病菌のハルビン侵入を極力防止すべく第二段の防疫策を講じてゐる 尙現在の炭疽病猖獗地帶は二站以北四季屯地方で二站を境界として興安嶺が分水嶺となり、二站以北の河水は黑龍江方面に流出し病菌の松花江侵入の虞無きも一旦龍門鎭、龍鎭方面に迄蔓延すれば呼蘭河及訥河下流の嫩江に炭疽病菌が流入し松花江に及び同流域一帶は炭疽病の脅威を受けるので成行憂慮されて居る

業務合理化を圖る能率增進講習
二十九、三十兩日高女で 一般社外者も歡迎

滿鐵總務部審査課能率班においては各種業務の能率增進のため大正十五年いらい前後六回に亘つて能率講習會を開催して來たが、今度會社各方面の要望によつて第七回講習會を沿線主要各地で開催することになつた、今回は業務合理化、能率增進に關する概念を廣く一般に普及するを眼目として、實施上の詳細目は第二次第三次において行はれることになつてゐる、資格は中等學校卒業以上で社外者も歡迎新京では來る二十九、三十兩日午後一時から三時間、新京高女内で開催、申込は地方事務所社會係で聽講無料科目及び講師は左の通りである

一、業務合理化の目標とその具體的方法　總務部審査員　大内丑男氏
一、事務の簡易化　同　大中信夫氏
一、合理的帳簿類作成法　王名勝夫氏

臥虎屯後六家子の一部落殆ど全滅
周圍は鐵條網て逃走防止

臥虎屯後六家子のペスト狀況調査のため出張中の春日醫師から鄭家屯警察署に達した情報によれば後六家子における二十一日現在のペスト死亡者は十六名、罹病者三名あり、傳染系路不明、後六家子は發病地と認められ、發生家族は一戸に對し一名乃至六名を出し十三戸のうち十戸から罹病者を出して傳染してゐない家屋は僅か三戸である、目下同所には防疫醫一名、助手二名監視兵三十名を配置し、部落の周圍には鐵條網を廻らし罹病者の逃走を防止して萬遺漏なきを期してゐる、なほ臥虎屯驛にも二、三日中に防疫醫及び助手二名を配置する豫定

通遼附近防疫復活

通遼警察署からの情報によれば通遼防疫所井野邊醫師殉職日向助手の人質拉致事件後通遼縣のペスト防疫は一時中止の狀態であつたが、山田副參事官は奉天公署と種々接衝中のところ經費の捻出その他警備防疫員などの充當されたので二十四日から再び發生地附近の防疫及び調査に當ることとなつた

扶餘のペスト患者眞性と決定

二十八日扶餘縣公署からの情報によると廿六日同地東北一支里後瓦屯部落了德赤（六五）がペスト容疑で死亡したので滿洲國衞生司山縣防疫醫師は直に現場に急行檢鏡を行つたところ眞性と決定、死体の燒却とともに消毒をなす一方、日滿住民全部に強制的豫防注射を實施し防疫に努めてゐる なほ高家店警察署の情報によると二十六日同地北方一支里馬家堡屯農業郭赫洛二男某がペストと決定し死亡した

哈市檢疫運行中止斷行か

【ハルビン國通】最近農安、兆南、四平街、昂々溪線方面でペスト猖獗しつゝあるに鑑み北鐵管理局長ルデー氏は北鐵衞生部と終日これが對策を考究するところあつたが同惡疫のハルビン侵入を防止するため成行如何によつてはチチハル、ハルビン間の貨客の檢疫、北鐵南部線は運行を中止する事になる模樣である、尙防疫費は鐵道關係は北鐵當局で負擔し其の他は市公署と交涉して同公署で負擔する方針であるが北鐵當局も惡疫防止に對しては愈々積極的に重大な關心を持つて來た、尙ハイラル方面では惡疫を媒介するタルバカン獵を禁止した

血盟團事件辯論 十一日から

【東京廿八日發國通】廿八日既報の如く求刑された血盟團被告十四名の辯論は九月十一日より十月四日迄續行される豫定である

味を占めた圖太い詐欺男
籠谷氏も一杯掛る

愛知縣名古屋市東二軒町菊地愛時（三二）は本年二月ごろ來京し平安町滿鐵社員小倉某方を訪れ自分は同家の妻女の妹を妻に迎へた者だが今回高貴の御方の御内命を受け滿洲事情の調査に來京したが、旅費その他の費用は歸鄕後御貸下されることに決定してゐるが取扱へず金錢に窮してゐるから旅費百圓を貸してくれと言葉巧みに家人を說き、現金百圓を借つたのを手始めに千鳥町電氣商會支配人籠谷保氏方から百五十圓その他滿鐵社員から五百圓を詐取し逃走したが最近福島警察署に詐欺犯人として檢擧された旨二十七日新京署に通知があつた

△△△△△ビール黨豪勢
日本から本年六月迄の移入實に百十萬ダース
消費者は主に在留邦人

今春一月以來六月末に至る期間に滿洲及關東州に日本から移入したビールは二十七萬七千七百〇五箱即ち百十一萬一千ダースと云ふ夥たかにぬ量である、全輸出總高の四十六萬四百四十四函から見るとザット六割である、これに國内産の數量乃至は外國の輸入品を加へると夥しい數量であるがビールの需要者は主に邦人であるから在留邦人の飮むビールの一人當りも可なりの量に上つてゐる譯である

ヤマトホテル庭園閉鎖

涼風がたち朝夕などはアハセ欲しさを感ずるやうになつたので新京ヤマトホテルの庭園食堂は二十八日限り閉鎖これからの宴會はすべて屋内大中小食堂を用ゆることゝなつた

教育界を去る
東校長心境を語る
＝人生は四十からだ＝

有賀學務課長の前で紙と筆を借りて辭表を突き出した好漢東商業學校長は二十七日校長室で心境を語つた

私は誓つてやましいところはない、ただ教育者として世間を騷がした責任の立場から辭任を決意したまでです

私の負けでした、社會を騷がしたことは教育者として何とも申譯ありません、絶對に留任はしません、今後は教育界から身を退いて滿洲で働きたいと思つてゐます然し當分家で英氣を養ふ考へです、教育界に入つてから十二年半、校長を十年間やりましたが、尊い經驗でした、本校に長となつてから三年半、長いやうで短かゝつた、世間では教員と相撲と船乘はつぶしが利かないといつてゐるが、私はイロハから踏み出そうと思つてゐます、内地でももう一度校長をやつたらといつて呉れる人もあるが、何か滿洲で自分の働けることがあると信じてゐます、若し何もなかつたら神戸でも行つて石炭のブローカーでもやつてみやうか、自分は未だ四十だからこれから人生勉強をしたいと思つてゐます

三年半の月日を生徒といつしよに暮した學校を去る東氏はさすがに感慨深いものがあるだらう、職務整理をしてゐる校長室の空氣は明朗な氏の性格にも似ず何かしら釋然たらざるものがあつた、なほ當分赤塚教頭が校長事務取扱として任命される模樣である

全滿都市對抗足球
けふ愈よ決勝
大連、新京戰を開催

斯民社主催全滿都市對抗足球戰は白熱の血戰に各地代表悉く全力を盡して戰つてゐるが愈々廿九日午後三時から大連―新京の優勝戰を擧行する事となつた大連チームは關東州内六十餘チームより選拔されたる蹴球界の雄として洗錬されたるプレーは衆目の認むるところ一方新京チームは國都の榮譽を擔ひ寛城子に一ヶ月の合宿練習をつみ完全なるチームワークを武器として、既に吉林チ、ハルを輕く破り、強敵大連に對し虎視眈々覇氣にもえてゐる、兩軍の對戰は蓋し大會の白眉として榮冠何れに歸するや異常な期待を以てみられてゐる

新京勝つ

新京對チチハル足球戰は午後三時半より佐藤主審、内海、酒井線審の下に新京先蹴で開始新京前半四點、後半二點を入れたに對しチチハル後半一點を返したのみで六對一で新京勝つ

大連も勝つ

全滿都市對抗足球大會第二日大連對ハルビン戰は廿八日午後二時西公園競技場において王主審、酒井、内海兩氏線審の下に大連先蹴で開始され、前半廿分のR1シュートに一點を擧げ一對零で大連勝つ

銀行團野球
京銀對正隆 正隆快勝す

二十六日午前十時より開始双方ベストコンジョンにてよく戰ひたり　三回京銀一點先取し氣勢を揚げれば正隆四回の裏にて一擧四點を入れ形勢逆轉、遂に押切りて決勝す（審判）堀（球）中原、田中（壘）

バッテリー　新京　中園、上村　正隆　森坂、三浦

スコアー

	一	二	三	四	五	六	七	
正隆	0	0	0	4	1	0	1	6
京銀	0	0	1	0	0	0	0	1

滿銀快勝 正金振はず

二十六日午後三時より滿銀對正金の試合は中原、中園、森坂三氏審判の下に滿銀先攻にて開始されたが左記スコーアの如く滿銀快勝す

バッテリー　滿銀　加來、董　正金　石關、岩堀

スコーア

	一	二	三	四	五	六	七	
正金	0	0	0	1	0	0	0	1
滿銀	0	2	1	1	1	1	1	7

今日迄試合經過

	正金	鮮銀	正隆	京銀	滿銀
（勝）	○	一	一	一	三
（負）	三	一	一	一	○

鮮銀勝つ 正金遂に敗る

二十四日午後四時半より鮮銀對正金の試合が行はれたが鮮銀斷然優勢大勝す（審判）堀（球）中園、影山（壘）

スコアー

	一	二	三	四	五	六	七	
正金	0	1	0	1	0	1	2	5
鮮銀	5	0	0	4	1	6	2	18

建國の雄圖空し
遺骨けふ着來

建國の雄圖空しく匪賊の手に斃れ殉職した吉林省虎林縣屬官岩永靜雄並に同江縣警務指導官三村博美兩氏の慰靈祭は二十八日午後三時からハルビン西本願寺で民政部辦事處その他關係各機關主催の下に莊嚴に執行されたが岩永氏の遺骨は二十九日午後三時二十五分着新京へ、三村氏遺骨は吉林公署へ向け護送された（寫眞は左岩永右三村兩氏）

宮内府内假事務所
けふ上棟式

去る七月上旬清水組の手で起工した宮内府内假事務所は其後工事着々進捗し、廿九日午後三時上棟式を擧行する運びとなつたが、右假事務所は一〇八八平方米の二階建で勸民樓に準ずる高雅な建物で十月三十日は竣工期限である

經濟關係座談會

來京中の大藏省廣瀨文書課長を中心に二十九日午後三時からダイヤ街扇房グリルで主として經濟關係の座談會が開かれる

カッピー化粧品 化粧法實演

國霍化粧品カッピー宣傳賣出しのため二十八日から金泰洋行はじめ市中の各化粧品店でマネキン孃が近代化粧の實演を見せいろいろの指導を行ふので人氣をよんでゐる

▲植村寅彦氏（高砂町四丁目六番地）長女洋子さん二十日出生
▲芳野政雄氏（花園町三丁目五番地）長女政江さん二十三日出生
▲包梅吉太郎氏（露月町二丁目三十九號）長女暢子さん二十一日出生
▲内山マチさん（露月町二丁目三十七號の五）二十七日午前五時五十分死亡
▲山口福松氏（吉野町一丁目十五番地）二十七日午後三時四十分死亡

モヒ密賣の不良續々檢擧
内鮮滿合せ三十名

夕刊既報、新京署では二十七日午後七時から同十一時まで全署員を召集し全市の阿片、モヒ密賣窟を襲ひ不良分子の檢擧に努めたが同署では引續き刑事隊を出動し檢擧に努め廿八日午後四時まで内鮮滿人三十人を檢擧した内地人では日本橋通二六川上誠昌堂藥房こと川上謹一氏外數名である

産業の振興を期し 滿洲發明協會設立（下）

發明考案の業務一切を取扱ふ

第三章　役員及職員

第十四條　本會に左の役員を置く

一、會長　一名
二、副會長　一名
三、常務理事　一名
四、理事　若干名
五、監事　若干名
六、評議員　若干名

會長、副會長は評議員に於て理事中より之を推薦す

常務理事は理事會に於て互選す

理事及監事は評議員に於て互選す

評議員は總會に於て會員中より之を選擧す

理事及監事の員數は評議員會に於て評議員の員數は總會に於て之を定む

第十五條　會長は本會を代表し會務を統理す

副會長は會長を補佐し會長事故ある時は其の職務を代理す

常務理事は會長の命を承け常務を掌理す

理事は本會の重要事項を商議し且つ會長の命を承け會務を分擔處辨す

監事は本會の事務を監査し其の他法令の定むる職務を行ふ

評議員は定款の定むる所に從ひ本會の事務を評議す

第十六條　役員の任期は四年とす但し再選を妨げず

役員にして會員の資格を失ひたるときは役員の職を失ふ

役員中闕員を生ずるも特に補闕の必要なきときは次の改選期迄其の補闕選擧を延期することを得

補闕に依る役員の任期は其の前任者の殘任期間とす

役員は任期終了後と雖も後任者の就任する迄引續き仍其の職務を行ふものとす

第十七條　役員は名譽職とす但し常務理事は理事會の決議に依り之を有給と爲すことを得

第十八條　本會には理事會の推薦に依り顧問及相談役を置くことを得

第十九條　本會は主事及書記其の他の有給職員を置き庶務を處辨せしむ

職員は會長之を任免す

第四章　會議

第二十條　會議を分ちて總會、評議員會及理事會の三種とし總會を分ちて通常總會及臨時總會とす

第二十一條　會議は會長之を招集す

會議の議長は會長、會長事故あるときは副會長を以て之に充つ、會長及副會長共に事故あるときは出席員の互選に依り之を定む

第二十二條　通常總會は毎年四月に於て之を開き事業報告、收支決算、財産目錄、貸借對照表及經費豫算は之が承認を得へきものとす會長は必要ありと認むるときは何時にても臨時總會を招集することを得

會員三分の一以上より會議の目的たる事項を示して請求を爲したるときは會長は臨時總會を招集することを要す

第二十三條　總會の招集は少くとも五日前に書面に依り會員に通知す

前項の通知書には會議の目的たる事項開會の日時及場所を記載すべし

第二十四條　評議員會は會長に於て必要と認むるとき又は理事會の決議に依り之を開く

第二十五條　左記事項は評議員會の決議を經ることを要す

一、重要なる財産の管理又は處分
二、經費の豫算
三、收支決算又は豫算外支出の承認
四、起債又は借入金
五、訴訟の提起
六、其の他重要なる事項

第二十六條　理事會は會長又は常務理事必要と認むるとき之を開く

總會又は評議員會に付すべき事項は理事會の議決を經ることを要す

第二十七條　會議の議事は出席員の過半數の同意を以て之を決す、可否同數なるときは議長之を決す、但し定款變更の決議は總會に於て出席會員三分の二以上の同意あることを要す

第五章　會計

第二十八條　本會の經費は會費、補助金及寄附金其の他の收入を以て之に充つ

第二十九條　本會の會費は毎事業年度の初に於て徵收す但し分割納付を妨げず

第三十條　本會の會計年度は四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る

附則

第三十一條　定款執行の細則は評議員會の議決を經て別に之を定む

第三十二條　本會創立當時の會長は發起人會の推薦に依り、其の他の役員は會長之を指名す（了）

避暑から―歸るお子さんへ 家庭の注意

大食を止めさせませう

海や山から健康になつて歸つて來る兒童をお迎へになる家庭で注意しなければなりませんことは今まで運動が旺んで大食の〝習慣〟がついてゐますから、それをその儘家庭へ歸つても實行し勝ちです、運動不足の所へ大食するのですからお腹を痛め、下痢を起し殊に秋口の傳染病流行期に逢つては危險も一倍です、九月初旬は槪して雨の多くなる時で、どうしても運動不足になり勝ちですから特に大食は愼まなければなりません、此の時桃や西瓜やバナナの樣なものを寢る前に食べることは禁物です、先日細民街の兒童を集めた臨海園を見に行つた時驚いたのは此等の〝兒童〟が實に澤山の御飯を食べることです、之は日常の習慣から致し方もないでせうで胃腸を害し下痢の因となるのは爭はれません、出來る事ならもつと副食物を澤山にとり御飯をへらす樣にお勵めしたいのですが、之は家庭の經濟問題となるでせう

秋季競馬 第二日目成績

第二日八月廿七日（月曜日）

第一競馬（六頭）二〇〇〇米
（一）春花（騎手高尾）二分五三秒三（二）太刀風
配當（復）（一）四圓一〇錢
（二）七圓〇〇錢
（單）六圓五〇錢
揺彩票一等　三五圓八〇錢
二等　八圓九〇錢
等外　二圓八〇錢

第二競馬（五頭）一八〇〇米
（一）駒燕（騎手城内）二分五一秒一（二）第二久慈
配當（復）（一）三圓四〇錢
（二）三圓二〇錢
（單）四圓七〇錢
揺彩票一等　六四圓〇〇錢
二等　一四圓〇〇錢
等外　六圓六〇錢

第三競馬（四頭）一八〇〇米
（一）經棚（騎手田中）二分三五秒一
配當（單）六圓三〇錢
揺彩票一等　六八圓二〇錢
等外　五圓六〇錢

第四競馬（六頭）一六〇〇米
（一）天成（騎手高尾）二分一八秒（二）大連霧島
配當（復）（一）三圓三〇錢
（二）三圓〇〇錢
（單）八圓四〇錢
揺彩票一等　一一〇圓〇〇錢
二等　二七圓五〇錢
等外　八圓六〇錢

第五競馬（一〇頭）一六〇〇米
（一）第二壽（騎手田中）二分三四秒（二）八千代（三）賓滿
配當（復）（一）三圓二〇錢
（二）七圓四〇錢
（三）四圓一〇錢
（單）四圓[illegible]錢
揺彩票一等　二六八圓八〇錢
二等　七六圓八〇錢
三等　三八圓四〇錢
等外　一三圓七〇錢

第六競馬（八頭）一八〇〇米
（一）天風（騎手安部）二分三〇秒四（二）右近（三）安東北斗
配當（復）（一）三圓五〇錢
（二）六圓五〇錢
（三）六圓四〇錢
（單）四圓九〇錢
揺彩票一等　三四〇圓四〇錢
二等　九七圓二〇錢
三等　四八圓六〇錢
等外　二四圓五〇錢

第七競馬（八頭）二〇〇〇米
（一）伏龍泉（騎手清水）三分一（二）松島（三）秉光
配當（復）（一）三圓〇〇錢
（二）四圓八〇錢
（三）四圓一〇錢
（單）三圓七〇錢
揺彩票一等　四三九圓〇〇錢
二等　一二五圓四〇錢
三等　六二圓七〇錢
等外　三一圓三〇錢

第八競馬（一一頭）一六〇〇米
（一）新京（騎手田中）二分二四秒（二）鷲（三）青春
配當（復）（一）四圓九〇錢
（二）四圓一〇錢
（三）一〇圓〇〇錢
（單）一二圓〇〇錢
揺彩票一等　四八八圓三〇錢
二等　一三九圓五〇錢
三等　六九圓七〇錢
等外　二一圓八〇錢

第九競馬（一〇頭）一八〇〇米
（一）羽衣（騎手安部）二分三三秒四（二）松月（三）待月
配當（復）（一）三圓八〇錢
（二）三圓六〇錢
（三）三圓六〇錢
（單）一〇圓〇〇錢
揺彩票一等　五一五圓二〇錢
二等　一四七圓二〇錢
三等　七三圓六〇錢
等外　一六圓二〇錢

第一〇競馬（一〇頭）一六〇〇米
（一）丹旗（騎手城内）二分二六秒（二）第三神風（三）但馬
配當（復）（一）三圓二〇錢
（二）三圓一〇圓
（三）三圓五〇錢
（單）四圓四〇錢
揺彩票一等　五三三圓一〇錢
二等　一四七圓二〇錢
三等　七三圓六〇錢
等外　二六圓二〇錢

第十一競馬（九頭）二二〇〇米
（一）安東光（騎手高尾）三分一秒（二）韋駄天（三）谷風
配當（復）（一）三圓五〇錢
（二）四圓〇〇錢
（三）三圓一〇錢
（單）一六圓八〇錢
揺彩票一等　四七四圓八〇錢
二等　一三五圓六〇錢
三等　六七圓八〇錢
等外　二八圓二〇錢

第十二競馬（一〇頭）一六〇〇米
（一）奴（騎手城内）二分二三秒一（二）天龍（三）鶴丸
配當（復）（一）三圓〇〇錢
（二）四圓一〇錢
（三）三圓八〇錢
（單）四圓〇〇錢
揺彩票一等　三五三圓九〇錢
二等　一〇一圓一〇錢
三等　五〇圓五〇錢
等外　一八圓〇〇錢

第一三競馬（四頭）一八〇〇米
（一）葉蔭（騎手田中）二分五一秒
配當（單）三圓六〇錢
揺彩票一等　一〇八圓八〇錢
等外　九圓〇〇錢

第一四競馬（四頭）二〇〇〇米
（一）玄海（騎手原田）二分五一秒
配當（單）三六圓八〇錢
揺彩票一等　八一圓〇〇錢
等外　六圓七〇錢

(1) ニッポン、タロウハコンナニオホゼイノ、イロ〳〵ナサカナドモガ、タツターヒキノ、オホダコノタメニ、クルシメラレテキタノカトオドロキマシタ。ココマデクルト、サスガノ、タロウモ、サツキカラノタビ〳〵ノフンセウニ、ダイブンツカレタ。

(2) アヽクタビレタ、ドレコヽデヒトヤスミシヨウ。ト、カツイデキタオホダコヲソコヘホオリダシテ、イワノウヘニコシヲオロシタ。スルトサカナドモハ、ヨツテタカツテ、ニクラシイタコノアシヲ、メタ〳〵ト、タベハジメタ。アラ〳〵

新刊紹介

婦人公論（九月號）

今日位婦人の身上相談の多い時はなく、今日位離婚問題のごつたがへす時はない、これは一面婦人の生活不安を最も雄辯に語るものであり、深刻な社會問題として、看過することが出來ない、婦人文化向上の旗幟を掲げて多年この方面に貢獻した婦人公論が今夏を期して全國講演行脚によつて女性の覺醒を促しつゝある「婦人の新生活運動」は、最も時宜を得たものと云ふべくその使命を十二分に發揮したもので、同誌が智識的婦人層に絶大の支持を得てゐる所以である、九月號はこの提唱に呼應した「新生活運動」號「新生活座談會」の三輪田元道、太田正孝、守屋、東、河崎なつ、金子しげり、岡邦雄、ダン道子、島中雄作の諸氏は婦人運動の實際家或は婦人問題のよき理解者であつてそこに取上げられてゐるいろいろの問題は現代社會の煩悶を解決する鍵であり、新しい生活の指標をうち建てるものでもある

巻頭論文、帆足理一郎氏の「新しき生活への出發」は信仰に基く生活革命の一大提唱であつて重要な示唆と暗示に富んでゐる

今月の讀物――「叛いた女から」は毎月連載の募集實話虐げられた女の半生手記の第四回發表、虐げられ傷められつゝも尚生きんともがく一女性の半生記は小説以上の實感と興味とをもつて讀者を壓倒し運命の怖ろしさに戰慄せしめるであらう

「轉向までの心境」はかつて勞働運動華かなりしころ亀戸洋モス爭議に活躍した鬪士織本貞代さんが地下にもぐつて二年、獄中にあつて轉向するまでの心境を綴つた魂の苦鬪史、獨占の手記として本誌を飾つてゐる

中西伊之助氏の「私生子はかく語る」は不合理の悲劇に憤激した氏が私生子の名によつて悲劇に泣く人々の實話を語つて社會に訴へる問題の書、反響が期待される

「少女ユリヤの死」は函館の修道院に起つた一少女と行者サミエルとの愛慾悲劇で哀切胸をうつ

特別讀物「蛇性の婬」は日本文學史上に燦たる功績を印してゐる一大雄篇「雨月物語」の一篇「蛇性の婬」を巨匠佐藤春夫氏がその麗筆をもつて現代語に移し、しかも原作の香氣を再現し得たる名文、原作の幽怪凄惨慄然として魂に迫る思ひがあり、日夏耿之介氏の隨筆「秋の抒情詩」とともに新秋好個の讀物とならう

齋藤駐米大使夫人の「アメリカの婦人達」は夫人の滯米印象記でアメリカ婦人の生活狀態が躍如として窺はれる、野村光一氏の「ネリー、メルバ傳」は歌劇界の明星メルバの生涯を傳へて妙

入選實話「婚期に遅れた私が良縁を得るまで」三篇は晩婚の微笑ましき幸福の記錄、晩婚者の悩み、丙午などがいかに不必要なる言葉、不祥合なる迷信であるかゞわかる「難病の民間治療法」は先月號に於て廣く一般から募集した民間療法中各科專門の學者博士が嚴選した十種に各博士專門の立場から嚴正な批判を添へたもの、最も簡單に實行し得る點に、專門學者の信頼すべき批判がある點に、これらの不治の難病に苦しむ人々にとつて暗夜の光明とならう編輯部特輯の「家庭看護法のいろいろ」は直ぐに役立つて重寶、兩者とも家庭人必須の知識である

ラヂオ

八月二十九日（水曜）放送番組

前 六、〇〇 ラヂオ體操
同 六、二〇 ラヂオ體操（東京より）
同 六、四〇 滿語講座（滿語）講師 鳥宮盛逸
同 七、〇〇 日語講座　同 植松金枝
同 七、二〇 ニュース（日語）
同 八、〇五 經濟市況（東京より）
同 一〇、四〇 經濟市況（東京より）
同 一〇、五九 時報
レコード
同 一一、三〇 ニュース（滿語）
同 一一、四〇 ニュース（東京より）
後 〇、〇五 經濟市況（奉天より）
同 〇、三〇 演藝（滿語）
レコード
同 一、〇〇 演藝（滿語）二鳳 蓮香班
同 二、〇〇 日用品値段（滿語）
同 二、四五 ニュース（日語）
同 二、五〇 經濟市況（東京より）
同 三、二〇 ニュース（日滿語）
同 三、三〇 經濟市況（奉天より）
同 四、〇〇 官廳ニュース（滿語）
同 四、三〇 ニュース（滿語）
同 四、四〇 ニュース（鮮語）
同 四、五〇 ニュース（英語）
同 五、〇〇 子供の時間（奉天より）
同 五、三〇 時事解説

ラヂオの御用は東京無線 電話九一二〇番へ

同 五、五五 氣象通報（滿語）
番組豫告（滿語）
同 六、〇〇 ニュース（東京より）
同 六、三〇 趣味の話（大阪より）
藝談十二選（八）人形使ひの話 文樂座 吉田榮三
義太夫さわりの夕
同 七、〇〇
一、繪本太功記十段目（尼ケ崎の段）（大阪より）淨瑠璃 竹本清糸 三味線 豐澤仙平
二、艶姿女舞衣（酒屋の段）（大阪より）淨瑠璃 竹本三蝶 三味線 豐澤小住
三、本朝二十四孝（十種香の段）（東京より）淨瑠璃 竹本越駒 三味線 豐澤紋歡
四、御所櫻堀川夜討（辨慶上使の段）（東京より）淨瑠璃 竹本綾千代 三味線 竹本重八
五、伊賀越道中双六（沼津の段）（東京より）淨瑠璃 竹本素昇 三味線 豐竹巴住
同 八、三〇 時報（東京より）
同 八、四五 ニュース
同 九、〇〇 氣象豫報、番組豫告、ニュース
同 九、〇〇 演藝 艶春院 四喜（滿語）
ニュース（滿語）

日本の聖女

生田葵

一九三 破牢（五）

外に…役人達は手を延ばして入口に顔をのぞかす囚人を二人三人外へ引ずり出すと、やつと森村が出て來た。此方で推察して居た通、捕はれの際に受けた傷の痛みか、身體の上に現れ、顔も見違へるやうに憔悴して居た。

「お丶森村様ご無事で、お迎へに來ました」

吉兵衛がその手を取つた。

「お丶御苦勞、火事だと聞いて大方こんな事であらうと思つた」

森村は元氣よく笑つたが、乾分の二人三人と左右から、つと寄り添つて往つて抱き支へた。

「表門から出るんですか」

幸之助が訊いた。

「うむ、今這入つて來た烏丸口から、はしご陣ひに高塀を越えた

か、それとも異變があつてはならぬと思つて見廻りに來たのか、牢役人が四人此方へ駈けつけて來たのに、はたと行當つた。

此方の一同が役所の法被を着て居るので、その四人の役人は格別怪しむ様子もなさゝうにみえたが、その役人の一人が眼敏くも、一同の眞ん中に取圍まれて居る森村の姿を見つけて咎めた。

「こら、其方達大切なるその囚人を何處へつれて行く」

「えゝ。彼方にお出になるお役人が、此の囚人を引立て來い、外の牢へ入ろと仰せになりましたので、おいひつけ通りにいたすので御座ります」

幸之助が咄嗟に應對した。

「彼方へ連れてこい。そんなばかなことがあるか。そんなお命令を一體誰がお出になつたのぢや」

ふがよからう」

吉兵衛はさうさしづした。

其邊には牢獄から脱出したもの丶、行きもやらずうろ／＼してゐる囚人もあつたが、吉兵衛の配下の者一同が役所法被を着てゐるので、恐れをなしてそばへ寄つて來なかつた。

森村を眞ん中にして一同は取かこむやうな陣形を作つて、彼方にみえる大の廣庭に續く、切戸口の方に向つて走り出した。

もう火の手は高く上り、火の子はばら／＼と走る一同の頭の上へも落て來た。牢獄内の高やぐらの半鐘はじやん／＼と續打ちを受けて鳴り響きまだぢやうがおろされたまゝになつてゐるので牢獄内からは囚人達があげるときの聲とも救ひをもとめる聲とも判斷がつかぬ物凄じい叫び聲が起こつてゐた。

幸之助が先頭を切つて居た。吉兵衛は森村の側に、又蔵が殿りを承つて居た。さうして切戸口を出て次の廣庭へ出たのであつたが、その時中の牢獄の異變を聞いたの

その役人は息まいた。

四人の役人の中一人は牢獄の戸口の方へ走つてゆき、二人丈けが立よつた。幸之助は些と言句に詰つた。

「淺香様がおいひつけになりましたのでございます」

聞者に入ておいた鶴五郎が引き取つて答辯した。

六角牢獄附與力淺香伊織は今宵の宿直の最上席者であつた。

「なに、淺香様がおいひつけになつた、そんな筈がない。拙者は只今淺香様のお指し圖を受けて、中の牢獄をみまはりに參つたのぢや。のみならず此の火事騷ぎはそれなる囚人に關り合があるかも知れないから氣を附けいとさへお仰になつたわ」

その役人は言葉きびしく云つたが、自身の前に立つ幸之助初め、他のやからの役法被の下からのぞく眼眼にきつと眼をつけ。

「役所の法被は着て居れど、怪しい風體の者ばかり、おのれ等曲者だな」刀に手を掛けた。